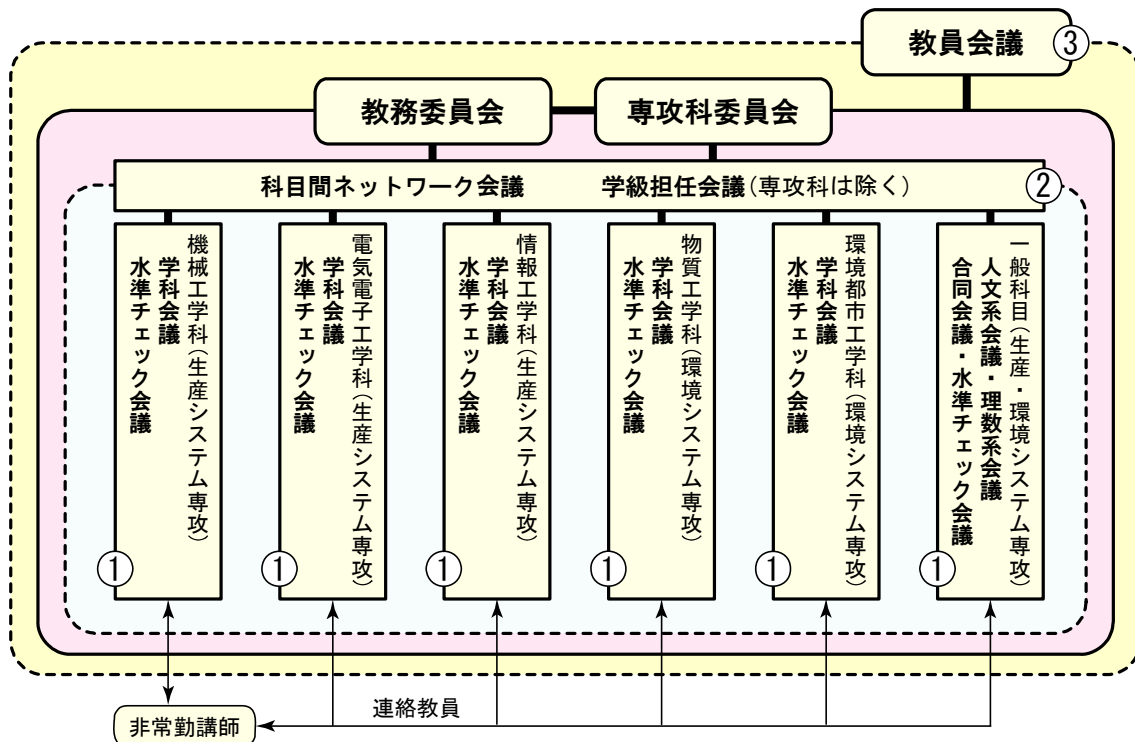


## 教員間連絡ネットワークに関する運営要領

一般科目担当教員と専門科目担当教員の相互関係を密にするとともに、同一教科担当教員および関連科目担当教員の連携を深めるために教員連絡ネットワークを整備する。

教員連絡ネットワークは、教員会議、学科会議、水準チェック会議、科目間ネットワーク会議、学級担任会議から構成され、教務委員会と専攻科委員会が統括する。本ネットワークにより、教育内容、教育手段、学生支援に関する事項についての担当教員間の連携を密にするとともに、相互の調整を通して、教育内容、教育手段、学生支援に関する事項の改善と充実を図る。

教員連絡ネットワークを構成する会議体は、議事録を WebClass に登録して、会議内容を教職員に開示する。ただし、教員会議の議事録については全教員にメール配信されることから、WebClass への登録は不要とする。



①：同一教科間、関連科目間の連携、②：一般科目と専門科目間の連携、学科間の連携、③：学内周知  
教員間連絡ネットワーク組織

## 申し合わせ事項

### 1. 同一教科間および関連科目間の連携（学科会議・一般科目会議、水準チェック会議）

学科会議や一般科目会議、水準チェック会議により同一教科間および関連科目間の連携を図る。同一教科の担当教員や関連科目担当教員で行われる水準チェック会議では、試験問題や答案の点検だけに留まらずに、相互の教育内容や教育方法を検討・調整し、シラバスの改善に繋げる。

## 2. 一般科目と専門科目間の連携（科目間ネットワーク会議）および学科間の連携（学級担任会議）

科目間ネットワーク会議により一般科目と専門科目間の連携を、学級担任会議により学科間の連携を図る。

### (1) 科目間ネットワーク会議

- 1) 科目間ネットワーク会議では、関連する科目担当者間で相互に検討して、教育内容と系統のより一層の高度化と整合性を確保し、次年度のシラバスの改善に繋げる。
- 2) 教務委員会では、物理系、数学系、英語系、情報系の科目間ネットワーク会議を統括し、毎年開催する。
- 3) 専攻科委員会では、技術者倫理系、システム工学系など本科と専攻科の連携のための科目間ネットワーク会議を統括し、必要に応じて開催する。
- 4) 他の系の会議は必要に応じて教務委員会と専攻科委員会が開催を判断する。
- 5) これらの会議には、一般科目の担当教員の他に、全学科の関連科目担当教員を含める。本科の科目だけではなく、専攻科の科目についても検討の対象とする。
- 6) 必要に応じて、JABEE や機関別認証評価用に保管してある答案などを活用しても良い（答案などの借用には、教育点検実施委員会に申し出ること）。
- 7) 会議の実施時期は、次年度のシラバスに反映させるため、11月末までに実施することとする。

### (2) 学級担任会議

学級担任会議は、本科の各学年毎に実施する。情報交換を通じて学級や学生の状況を共有し、学級間の連携を図ることにより学生支援を充実させる。なお、本科第4、5学年については、必要に応じて会議を開催すればよいこととする。

## 3. 学内周知（教員会議）

教務委員会と専攻科委員会により学内で審議・調整された事項は、教員会議により全教員に周知する。

## 4. 非常勤講師との連携

非常勤講師との連絡・調整は、連絡教員が行う。

以上